

3 月の予定

教会委員会 3月 8日
 典礼委員会 3月 1日
 黙想会・共同回心式 3月 28日
 癒しの祈り・共同回心式 3月 28日



2009 年 3 月号

中和田カトリック教会
 広報委員会発行

泉区中田北 1 丁目 9-1
 Tel. (045) 803-6141

<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

平成 21 年 3 月 8 日



四旬節を迎えて

主任司祭 小林 陽一



司牧書簡「交わりとしての教会をめざして」をグループで読んで、自分の心に残ったことを発表して、つぶさに話し合いました、と呼びかけました。

発行されて 10 年にまではならないが、かなり年月が経っていても、この言葉がすごく心に残りました、という発表がないです。意見が次々出るのは大変よいのですが、約 60 分話し合っても、なぜかまだ話し足りない状態で解散となってしまいました。

「交わりとしての教会をめざして」の書簡は、深い意味があり、何度も読んでみると、新しい理解が生まれます。四旬節を迎えて、じっくりとパンフレットを読み、参加できるグループで話し合うことをお勧め致します。

今年は 4 月 12 日が「復活の主日」で、四旬節は 2 月 25 日の「灰の水曜日」から始まりました。この四旬節は、自分の生活のあり方、信仰生活の見直しをする時期です。なんとなく仕事や勉強が手につかないし、意欲があまりなくなったようだ・・・、こういう事は誰にでもあります。見直しをする時は、一度その場から離れて気分転換をして、あらためて仕事や勉強を見てみると、意外なことに気づき、自分が変わって参ります。特に祈りの仕方を変えてみることをお勧めします。

四旬節の間、断食をする日があることをご存知ですか？ 2 月 25 日(水)は「灰の水曜日」とよび、大齋と小齋を守ります。4 月 8 日の聖金曜日にも大齋・小齋の日で、20 歳から 60 歳未満の健康な信者は、この決まりを守りましょう。

四旬節中の主日に、ミサの中で洗礼志願式が実施されることがあります。復活祭に洗礼を受ける求道者がこの式を受けますが、洗礼を志願している人の為にもお祈りをお願いします。また、私達の教会が、「交わりとしての教会」を目指す教会になりますようにお祈りをお願いします。

典礼こよみ (3 月)



日 曜	ミサ・勉強会	備 考
1 日	四旬節第一主日 主日ミサ (9 時)	典礼委員会
6 金	初金ミサ (10 時)	十字架の道行き (9:30): 毎週金曜 掃除 1 G
7 土	主日ミサ (18 時)	
8 日	四旬節第二主日 主日ミサ (9 時)	教会委員会
14 土	主日ミサ (18 時)	掃除 2 G (9 時 30 分)
15 日	四旬節第三主日 主日ミサ (9 時)	
19 木	聖ヨゼフ ミサ (10 時)	
21 土		掃除 3 G (9 時 30 分)
22 日	四旬節第四主日 子どもと共に捧げるミサ (9 時)	
28 土	黙想会・共同回心式 (1:30 ~)	掃除 4 G (9 時 30 分)
29 日	四旬節第五主日 主日ミサ・癒しの祈りと共同回心式	



森脇 信行

フランスはカトリック信者が全人口の約70パーセントを占めています。その点、約0.3パーセントの日本とは大違いです。すべての村に教会があるというより、教会を中心にして村ができています。隣近所に住んでいる多くの人が信者で日曜日には歩いて教会に通っています。ミサが始まる10分前に教会の鐘が鳴り、アパートから人が出てきて教会に集まってきます。森脇家からも徒歩で5分くらいの所に教会があり、日曜日の朝は鐘の音が聞こえると教会に向かいました。ミサの内容は当然中和田教会(日本)と同じなのですが、フランス語がわからないので、子どものことも考えて月に一度はパリのミラクルメダイ教会の隣の修道院の中にある日本カトリックセンターで行われる日本語ミサにあずかるようにしていました。

『人口の70パーセントが信者であるフランスでは人々の暮らしはさぞ教会の教えに添ったものであろう』それがフランスに行く前の私の印象でした。しかし、その考えは大きくはずれていました。まず、フランスは日本よりずっと治安が悪く、夜道の一人歩きや鞆を肩にかけて歩くと言うことは考えられません。必ずバックは肩からたすきがけです。電車の中でウトウトしていたら財布がすられます。車の中にかばんを置いておくと車の窓ガラスを割られて持って行かれます。離婚率は日本の2倍以上、10代の若者の多くが性体験をすませ、政府の政策に対する不満からすぐ暴動が起きます。日本のニュースと同じように毎日事件が起きますが、その被害者も加害者もほとんどが、カトリックの信者ということになります。日本のカトリック信者である私にとってはその現実が信じられませんでした。『信者なのに何故なんだろう。』正直な気持ちでした。

また、クリスマスや復活祭のミサ後にパーティーを行ったり、主日ミサ後に集会などがあるのは日本カトリックセンターだけで、近所の教会ではミサが終わると5分もしないで誰もなくなります。しかし、ミサの前は全員でその日歌う聖歌の練習を行いミサを大切にしているところが伝わってきました。教会の力の象徴のように建てられた立派で美しい聖堂と人々の生活にギャップを感じるとともに、多民族、多言語の世界では教会も個の集まりで、これが普通なのだろうと感じました。日本の教会は単一民族のためか、大体同じように考え、同一仲間意識で固まる日本人らしいアットホーム的な教会になり、それが日本の教会らしいよさでもあるのだろうと思いました。

私が小学校6年生の時に中和田教会ができて、その時から30年以上私は中和田教会で育ててもらいました。中和田教会のいいところはどこかと聞かれたら、私は迷わず『ふるさとのようなところ』と答えます。戸塚教会と一緒に活動していた中学時代、学連活動にはまった高校時代、教会学校を通して自分の教員という道を決めた大学時代、教会から遠ざかってしまった20～30代、自然体で教会に通っている40代。どのようなスタンスの私でも受け入れてもらえました。また、傷ついたり、疲れたときなど、いつでも羽根を休ませてもらえそうな安心感があります。当然、現代の社会問題はそのまま教会にも押し寄せてくる課題となっています。改革を急げばK内閣以降の日本と同じような歪みが生じてしまう恐れがあります。中和田教会を愛するものとして中和田教会の『ふるさとのようなところ』を大切にできれば良いと思っています。

連載終了にあたって

森脇さんの『海外生活を通して』を7回にわたり掲載させて頂きました。

3年間にわたるフランス在住を通して経験されたフランスの生活、文化、教育について鋭く分析され、紹介して下さいました。大変に力のこもった優れた比較文化論、教育論で、単にフランスでの教育を紹介するのみならず、日本の教育についてもふり返り、あるべき姿を示唆されています。

私も仕事の上でフランス人とおつき合いをしてきましたが、森脇さんに共感することも多々ありました。家庭でしっかりとしつけと教育を行い、これを前提として比較的自由に行動させるとともに責任を持たせることや、社会においても役割分担と責任、権限がはっきりしていること等は印象に残っています。

紙面の都合で分割掲載となりましたが、是非もう一度通してお読み頂きたいと思います。

森脇さん、どうも有り難うございました。(広報委員)

オルガン献金のお願い

中和田カトリック教会委員会

当中和田教会のオルガン(昭和40年頃製)は、幾たびか修理を重ねてまいりました。昨年9月の修理では老朽化が進み、今後は修理困難と言われており、買換えが必要となっております。

購入費用は教会予算で賄いたいのですが、教会建物・諸設備の老朽化・狭隘化が進む中、厳しい状況にあります。そこで、大会でもお話ししたように皆様からのご援助をお願いしたいと思います。

特別献金袋と詳細のチラシをホワイトボードの下に置いてありますので、ご協力宜しくお願い致します。

創世記を読んで 保科 桂子

2月15日、要理学校の皆さんといっしょに、創世記第一章天地創造の箇所を読みました。

聖書を一回読んだ後、二回目は4～5人のグループに分かれて、聞きながら絵に表していきました。天地創造をしている神様の気持ちをちょっぴり味わいながら・・・太陽を描き、星を描き、空を飛ぶ鳥や、海の生き物の魚やたこを描いていきました。クレヨンを持つみんなはとても楽しそうです。そんなみんなを見ながら、神様もきっと楽しくこの世界を作ったのではないかと思います。その証拠に聖書にも「よしとお思いになりました」と書いてあります。この世界をつくって失敗だったとは思わなかったのです。世

界をつくってくださった神様の思いや期待や愛情を知りながら、毎日の生活を送っていききたいですね。

小野委員長のお話を聞いて 石井 築雄

先日、小野さんが私たちにお話しをしてくれました。お祈りすることばとどういうことを教えてくださいました。普段何げなくしていたお祈りのことをくわしく知ることができました。

今度もまた機会があれば、ミサのことについて教えてくださいました。



復活祭にむけて

典礼グループ

1. 「共同回心式」と「癒しの祈り」

「共同回心式」を今年も(1)項のように次のように予定しました。しかし、従来から土曜日は、お勤め・学校などのため参加できない方がおられます。

そこで、今年是小林陽一神父様にお願いして、日曜日の主日ミサ後に、(2)項のように「癒しの祈り・赦しの秘跡」を計画しましたので、お知らせ致します。

(1) 「共同回心式」予定

- a. 月日： 3月28日(土)
- b. 指導司祭：岩間 勉 師 (藤沢教会)
- c. 式次第：13時30分～14時30分 講話
14時30分～15時30分 赦しの秘跡(岩間・小林師)
15時30分～16時30分 ミサ(岩間・小林師)
16時30分～ 懇親会
- d. 講話テーマ 「イエス・キリストの復活について」

(2) 癒しの祈り

- a. 日時： 3月29日(日) ミサ終了後
- b. 指導司祭：小林 陽一 師
- c. 式次第：10時30分～11時00分 講話
11時00分～ 赦しの秘跡
- d. 講和内容
 - (a) 講和：聖なる三日間
 - (b) 癒しの祈り (中和田教会 教会堂名：神の母聖マリア)
*聖母の祈り *聖母の連祷 *栄唱



2. 聖週間予定

- a. 受難の主日(枝の主日)：4月5日(日) ミサ時間9時より
 - b. 聖木曜日(主の晩さん)：4月9日(木) ミサ時間19時より
 - c. 聖金曜日(主の受難)：4月10日(金) 祭儀時間19時より
 - d. 聖土曜日 復活徹夜祭：4月11日(土) ミサ時間19時より
 - e. 復活の主日：4月12日(日) ミサ時間10時より
- 十字架の道行き：2月27日～4月10日の金曜日9時30分より

3. 聖週間奉仕のお願い

聖週間のミサ・祭儀については、侍者・朗読・祈願など多数の奉仕者が必要です。恵み多い「復活祭」を、中和田教会信徒全員でお祝いしたいと思います。

皆様のご協力を、宜しくお願いいたします。

小笠原神父様の講話



主任司祭 小林陽一
ヨゼフ会 鶴田恒之

2009年はパウロ殉教年にあたり、当教会に於いて講話をお願い致しました。各グループにお計りし多数のご参加をよろしくお願い致します。

皆様ご存知のカトリック入門講座の講師の神父様です。

講師：藤が丘 主任司祭 小笠原 優 神父様

日時：2009年3月13日(金曜日)

時間：3時から5時半まで

講話時間 一時間位

30分程度茶話会の時間をお願いしました。

議題：「パウロ殉教について」

今年度ヨゼフ会の運営指針の中で司教教書の三つの要素の内交わりとしての共同体作りの一環としてお忙しい中お出席いただきたく度く、会員は勿論の事、近隣の教会の方にもご参加をよろしくお願い申し上げます。

お知らせ

帰 天

ヨゼフ 小谷 徳爾 さん

2009年2月15日



委員会だより

△2月8日(日) 10名出席

■審議事項



(1) 信徒大会の反省

小林神父様より、信徒大会は良かった。出された意見を反映して運営して欲しい。またこうすれば出席者が増えるという方法も検討して欲しい旨御要望あり。今年も、要理学校とも重なってお母様方の出席が不可能であったため、日程も含め検討する。来年は70名の出席者数を目標とし呼びかけていく。

(2) オルガン発注の件・オルガン献金金額、内容は既に合意されている内容の通り。パックスアーレン、チャペルCF2A型。5月中旬納期。オルガン関係の各種書類、またそれ以外の各種資産関係についても基本は委員長、そしてこれを補佐する事務グループにて管理する。

(3) トイレ工事進捗及び予定

予定通り進捗。床は男子トイレ完了までコンクリートのまま。

(4) 小笠原神父様講話会 3/13(金)

3/13(金) 3時~5時半、中和田教会にて小笠原神父様(藤が丘教会主任司祭)の講話会「パウロ殉教について」が開催される。ヨゼフ会にて企画されたが、教会全体として支援する。今後教会全体の行事と位置付けるべきものは委員会の場で調整する。

(5) 典礼こよみ

- 2/25 灰の水曜日
- 2/27 十字架の道行き 9:30
- 3/28 黙想会、共同回心式 14時
- 3/29 癒しの祈りと共同回心式(ミサ後)

(6) 今後の教会委員会

これまで10年間委員長の高候補者がいない。選定の仕方など今後検討していく必要あり、継続検討と

する。若い方にも入って頂き、知恵を出して欲しい。一方委員会の動きがよく見えないという声もあり、皆で問題を考えていきたい。

(7) 月定献金掘り起こし

委員会から考え方を提起してもらい。愛の献金について理解されていないところもあり、分かりやすく見直す必要あり。夫婦や親子の場合一口か別口か、中和田教会に籍はあるが住所は他所のケース、年代による献金実施率の相違等検討課題も多い。

(8) オルガン献金

厳しい財務状況ではあるが、オルガンの購入が必須のため、約20万円分を献金にて賄いたい。オルガンの購入費用も含め教会の運営費についてもっと認識し、考えて頂くために、特別に献金袋を置き記名献金をして頂く。

小林神父様コメント: 購入にかかる費用を一部助けて下さいという趣旨と一般献金でこの教会が維持されていることへの感謝の気持ちが伝われば、皆さんの協力が得られると思う。

■各グループ連絡・報告事項

a. 営繕G.. ガス器具の点検の結果、法規上改修必要な部分が見つかった。費用は計5万円。

b. 財務G.. 教区に毎月報告している報告書にOCRソフトを使用することができるようになった。

c. 宣教G.. 今日から堅信の勉強を開始、月2回、計8回を予定。一回は合宿をしたい。

d. 福祉G.. 要理学校・3/15午後シスターをお呼びし、お話しをして頂く。

戸塚教会で開催された第5地区の会合に参加したが、幹事教会は非常に大変そう。来年は中和田教会が当番になる可能性がある。

福祉Gとしては、単に昨年までやってきたことを踏襲するのみならず、教会に関する問題を皆で話し合っていくこともやりたい。またボランティアも募集したい。

■小林主任司祭より

◆2/8午後、湘南短期キリスト教セミナーの打合せ。中和田教会がセミナー開催場所になる可能性もある。

◆女子パウロ会普及センターに、今年の展示即売会の実施希望日時を知らせる必要あり。とりあえず、5月に実施とする。

◆カリタスジャパン責任司教からのいのちを守るための緊急募金の呼びかけがあった。これに対し、福祉Gで対応方法を検討する。

◆横浜教区経済問題評議会から「遺贈による教会への寄付」についての案内が来ている。

09年2月委員会後記 小野委員長

◆2/15に本年最初の第5地区共同宣教司牧委員会が各小教区主任司祭、教会委員長、ならびに修道会代表が参集して開催されました。昨年からの引き続いて「祈る」「伝える」「証しする」の3部門を軸として第5地区共同宣教司牧の将来ビジョンのブラッシュアップ並びにその具体化を進めていきますが、皆様ご承知の通り、重要な切り口として「司祭減少への対応」があります。話の流れや経過などについては逐次ご報告やご相談をしますが、各小教区同様、中和田教会にとっても将来に関わる重要な課題です。常に深い関心をもって、見守って頂きますようお願い申し上げます。

■皆様ご存知の「湘南短期キリスト教セミナー」の運営体制は昨年度に一新され、(有志教会主催ではな

く)第5地区の全教会がセミナー委員会に参加して「第5地区のセミナー」として支援する体制に改められました。そのセミナー委員会の本年度最初の例会が2/8に中和田教会で開催され、

・本年度セミナー委員会の委員長には、原宿教会の松山利幸氏が選任され、

・本年度会場は中和田教会(11月初旬)

と決まりました。規模としては、開催(当番)教会に合わせた規模とする一方で、例年より小規模とする方向ですが、講演者、講演内容については今後月例のセミナー委員会に詰めていくこととなります。

中和田教会としても初めての経験であり、いろいろ課題も多いと思いますが、教会あげて協力していきたいと思っております。皆様のご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

■30年以上使っている聖堂のオルガンの老朽化が進み、交換部品もメーカー在庫がなくなっており、修理不能となる寸前の状態です。修理不能となりましたが、信徒大会などでまいりました。信徒大会などで皆様のご理解とご了解を頂いて、今般新しく購入する運びとなりました。費用は、皆様に納入頂いている月定献金から成る一般会計予算からの充当が基本ですが全てが賄い切れず、既に「案内の通り、皆様にご理解とご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。6月7日に

皆様のご理解とご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。6月7日に司教様をお迎えして堅信式が予定されており、この式典ミサを新オルガンで対応出来るように準備が進められております。